

授業科目名 ( 英文名 )	教育カウンセリング	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1
担当教員	金 外淑	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的：教育相談の視点から、児童・生徒のライフサイクルの発達的特徴と心身の諸問題への理解を深め、身体的・心理的支援につなげるカウンセリングマインドを学び、様々な場面で起こり得る相談場面でのコミュニケーションスキルを見に付け、より効果的な教育相談につなげるようにすることを目標とする。</p> <p>到達目標：カウンセリング理論と基本的な技法を身に付けるとともに、体験学習により学びを深め、児童・生徒への支援、保護者、教員間の連携などの多様な相談場面に活かすカウンセリングスキルを今後の生活や教育場面での実践を目指す。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義では学校における教育カウンセリングを中心に児童生徒への支援につなげていくカウンセリング場面における体験学習を積極的に取り入れ、コミュニケーションスキルを高め、自己成長につなげる。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育相談とカウンセリングマインド</li> <li>2. カウンセリングの諸理論と基本的技法</li> <li>3. 自己理解・他者理解を促進するグループカウンセリング</li> <li>4. 人間関係づくりの体験学習</li> <li>5. カウンセリング場面における基本技法の進め方</li> <li>6. 初回面接時のラポールの形成と心理アセスメント</li> <li>7. 話し手・聴き手のコミュニケーションと体験学習</li> <li>8. 非言語的コミュニケーションと心理アセスメント</li> <li>9. カウンセリング場面の質問、感情の受け止め方</li> <li>10. メンタルヘルスに役立つ「リラクゼーションの諸技法」と体験学習</li> <li>11. 心の問題と心理教育的カウンセリング</li> <li>12. 教育相談に役立つ心理臨床カウンセリングの実践（いじめ、不登校、不適応行</li> <li>13. 教育相談に役立つ心理臨床カウンセリングの実践（発達上の課題を抱えている生徒への支援）</li> <li>14. カウンセリングとコンサルテーション</li> <li>15. セルフカウンセリング（事例によるグループディスカッション）</li> </ol>		
テキスト	テキスト：必要に応じ、ビデオ教材を用いる。		
参考文献	新しいカウンセリングの技法: カウンセリングのプロセスと具体的な進め方. 諸富祥彦(2016)。その他、授業中に講義内容に関連する資料の配布・参考文献を紹介する。		
成績評価の基準・方法	テスト（40％）、小グループでの体験学習および、授業への取り組み（40％）、課題レポート（20％）を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	小グループでの体験学習（ロールプレイ）に積極的に参加することを要求される。		
実践的教育	心療内科でカウンセラーとしての経験を持つ教員が、カウンセリング場面に必要な基本的な知識と諸心理技法を学び、教育場面における心理教育的援助について講義する。		
備考	本講義は担当教員の専門分野である「臨床心理」「心身医学」領域の心療内科臨床経験に基づき、カウンセリング体験学習を通じて様々な実践に活かすカウンセリングスキルなどをわかりやすく提供する。		